(別記第１号様式)　　　　　　　　　　　　　　　　　　　整理番号:

山口県立大学長　様

研究計画書(組換えＤＮＡ実験)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 実験責任者 | 氏名内線番号(　　　　　　) | 提出日 | 年　　月　　日 |
| 実験従事者（実験責任者を含む） | 氏 | 名 | 所属 | 職名 | 教育訓練受講歴の有無（注１） |
|  |  |  |  |  |
| 課題名 |  |
| 実験予定期間 | 本学承認後　　～　　　年　　　月　　　日 |
| 実験の目的 |  |
| 実験の概要 |  |
| 申請の種類（注２） | 実験の区分（注３） | 拡散防止措置（注３） |
| * 新規
* 変更
 | □１．微生物使用実験□２．動物接種実験 | □Ｐ１　　□Ｐ２□Ｐ１Ａ　□Ｐ２Ａ |

|  |
| --- |
| 供与体・ベクター・宿主の組み合わせ（注４） |
| 核酸供与体（注５） | 供与核酸（注６） | ベクター（注７） | 宿主等（注８） | 保有動植物等（注９） | 核酸防止措置の区分（注１０） | 備考（注１１） |
|  |  |  |  |  |  |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 遺伝子組換え生物等の特性 | 核酸供与体の特性（注１２） |  |
| 供与核酸の特性（注１３） |  |
| ベクター等の特性（注１４） |  |
| 宿主等の特性（注１５） |  |
| 遺伝子組換え生物等の特性（注１６） |  |
| 遺伝子組換え生物等を保有している動物、植物又は細胞等の特性（注１７） |  |
| 拡散防止措置 | 施設等の概要（注１８） | 施設設置場所：実験室名：施設整理番号：認可年月日： |
| 遺伝子組換え生物等を不活化するための措置（注１９） |  |

【計画書記入要領】

・本様式の各項目に記入する。記入できない場合は別紙を添付し、該当項目に番号を記入すること。

・計画書提出の際は、本記入要領は削除すること。

注１　　本学で実施している「遺伝子組換え実験に関する教育訓練」の受講の有無を記入すること。

注２　　該当項目にチェックを入れること。

注３　　本計画において該当する項目すべてにチェックを入れること。

　　　　哺乳類、鳥類、爬虫類に属する動物を用いて実験を行う場合は、生命倫理委員会承認後、動物実験委員会に動物実験申請書を提出すること。

注４　　核酸供与体、供与核酸、ベクター、宿主等、保有生物等及び拡散防止措置の組み合わせ並びに実験の流れが分かるように組み合わせ毎に番号、直線、罫線等でまとめて記入すること。

注５　　核酸供与体となる生物の種名又は系統名を記入すること。

注６　　供与核酸について、核酸の名称及び種類（ゲノム核酸、相補的核酸、合成核酸など）、同定済みか未同定かを記入すること。

注７　　ベクターの名称を記入すること

注８　　宿主の種名、系統名又は名称等を記入すること。遺伝子組換え生物等を動植物に接種する場合については、接種に係る動植物を□で囲むこと。

注９　　遺伝子組換え生物等を保有させている動物、植物及び細胞等の種名、系統名等を記載すること。

注１０　組み合わせ毎に核酸防止措置の区分を記入すること。

注１１　認定宿主ベクター系を用いる場合には、そのレベル（例：Ｂ１等）を記入すること。また、各段階における主な目的等（例：動物への接種実験のため等）を記入すること。

注１２　分類学上の位置及び実験分類並びに病原性、有害物質の産生性その他の特性について記入すること。

注１３　核酸の種類（ゲノム核酸、相補的核酸、合成核酸等）及び一般的名称並びに構成要素の機能等について記入すること。

注１４　名称、由来する生物の分類学上の位置及び実験分類、構成並びに伝達性及び宿主特異性について記入すること。

注１５　分類学上の位置及び実験分類、繁殖又は増殖の様式並びに病原性及び有害物質の産生性やその他の特性、栄養要求性、薬剤耐性及び至適生育条件について記入すること。

注１６　分類学上の位置及び実験分類、繁殖又は増殖の様式並びに病原性及び有害物質の産生性やその他の特性並びに宿主に新たに付与されることが予想される又は付与された形質について記入すること。

注１７　分類学上の位置及び実験分類、繁殖又は増殖の様式並びに病原性及び有害物質の産生性やその他の特性並びに動物等に新たに付与されることが予想される又は付与された形質について記入すること。

注１８　Ｐ１を除く実験については、実験施設設置場所、実験室名、施設整理番号及び生命倫理委員会による認可年月日を記入すること。

　　　　なお、同一施設において複数の封じ込めレベルでの認可を受けており、かつ当該実験において複数の封じ込めレベルを設定している場合は、それぞれの施設整理番号毎に記入すること。（整理番号が不明の場合は学術情報センター管理室に確認すること。）

注１９　遺伝子組換え生物等が付着した機器及び器具について遺伝子組換え生物等を不活化するための措置並びに有効性を記入すること。